

# 市議会だより

## 12月定例会

- ムーミン基金条例、一般会計補正予算などを可決
- 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置

### 目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問・視察 受け入れ状況	⑤～⑦
請願・陳情・要望・意見書・ 委員会調査報告	⑧・⑨
市議会案内板	⑩



# 議案の審議

## ■一般会計補正予算など34件を議決

12月定例会は、11月27日から12月11日までの15日間開かれ、市長提出議案28件、議員提出議案2件、請願1件、その他3件について審議等を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

### 市長提出議案

⑨〇 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ五億一千四百七十三万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ二百八十九億八千三百六十六万九千円とするもの。

#### 主な追加の内容(万円未満切り捨て)

<b>歳入</b>	
国庫支出金	2億1,775万円
繰入金	1億6,300万円
寄附金	6,335万円
<b>歳出</b>	
国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	2億119万円
生活保護扶助事業	2億71万円
障害者自立支援事業	1億2,484万円
総合福祉センター施設管理運営事業	5,230万円
ムーン基金積立金	5,000万円

**問** 生活保護扶助事業の補正理由は。

**答** 住宅扶助、医療扶助、施設事務費の二つを補正するもので、積算としては平成二十七年四月から九月までの実績と今後の平成二十八年二月までの見込みを増額補正するものである。

⑧③ 飯能市ムーン基金条例

北欧の雰囲気とムーンの世界を体験できる施設と連携した観光施策の推進を図るため、基金を設置するもの。

**問** 目標金額、基金の規模については。

**答** 目標額は設定していないが、民間施設と連携して本市を盛り上げていく観光施策に確実に充当できる金額を積み立てていきたい。

⑧④ 行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

第五次飯能市総合振興計画を着実に推進するため、行政機構を改正することに伴い、飯能市部室設置条例その他の関係する条例を整備するもの。

**問** 今回の機構改革に対する市長の基本的な考えは。

**答** 一年一物事を進めるには機構改革もなくてはならない。今回第五次の総合振興計画もあり、どのような機構改革が必要かという点で私も熟慮し、副市長以下また担当とも相談したのが、今回の機構改革である。

#### ▼討論

##### 反対の立場

水道部と下水道課を統合することについて、地方公営企業法の

財務規定を適用するための組織統合であるので、反対する。

#### 賛成の立場

懸案の対応を狙った機構改革など、新しい課題や懸案を解決することを目指した行政機構改正案になっているので、賛成する。

⑧① 飯能市職員定数条例の一部を改正する条例

平成二十八年四月一日から、市長の事務部局の職員の定数を五百三十三人(現行五百二十九人)に、市長の事務部局の職員のうち社会福祉法第十六条の規定に基づく所員の定数を六十三人(現行六十二人)に、公平委員会の事務部局の職員の定数を三人(現行一人)に、教育委員会の事務部局及び教育機関の職員の定数を百九人(現行百十六人)に、企業職員の定数を三十二人(現行三十一人)などに改めるもの。

**問** 併任がとても多いが、こういう形で大丈夫なのか。

**答** 平成二十七年年度が五十六人、平成二十八年年度が五十八人の予定であるが、併任をかけることで、その業務が円滑に進むよう設けているものである。

#### ▼討論

##### 反対の立場

調理員などの現業職員の不補充分方針を見直し、実定数をしっか

りと確保する人事政策などを求め、反対する。

#### 賛成の立場

第五次の総合振興計画を着実に推進するための行政機構改正を反映した組織体制であり、そのために必要な定数を定めたものとなるので、賛成する。

⑧⑤ 飯能市立名栗幼稚園条例の一部を改正する条例

平成二十八年四月一日から飯能市立名栗幼稚園を子ども・子育て支援法に基づく施設型給付費の支給に係る特定教育・保育施設とするため、子ども・子育て支援新制度に基づく保育料の額を定めるとともに、入園料を廃止するもの。

**問** 在園児の軽減措置は卒園するまで行うのか。

**答** 卒園までということでは考えづらい。

#### ▼討論

##### 反対の立場

制度そのものの問題、財源、保育料の問題があり、同時に市民負担を増やすようなことはやめるべきなので、反対する。

#### 賛成の立場

飯能市における子ども・子育て支援新体制が進み、幼児期の学校教育、保育、地域の子ども・子育て支援が更に総合的に進むことを期待するので、賛成する。



# 委員会の

## 審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

### 総務委員会

● 飯能市税条例の一部を改正する条例

● 猶予制度の見直しにより条例で定める必要があるものは、徴収猶予や換価の猶予に係る猶予金額の納付方法や申請書の記載事項、添付書類、申請期限などであること。

● 飯能市においても減免申請期限については、「納期限前七日」までから「納期限」までに改正すること。

● 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 五千万円の寄附金がムーミン基金に対する最初の寄附金となること。

● 今後建て替える予定の飯能消防団第一分団詰所は、女性の消防団員室を設ける予定であること。

### 厚生文教委員会

● 飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例

● 退職者医療制度の経過措置が終了したことから、国民健康保険運営協議会の被用者保険等保険者を代表する四号委員を廃止すること。

● 国民健康保険運営協議会の一号委員から二号委員までは、県

内同規模の市と比較し多いため各八名から各五名に見直すこと。

● 飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例

● 納税者の利便性の向上を図るため、減免の申請期限が七日延びるので、口ごちに猶予ができるという利点があること。

● 保険税の減免については、納付書に同封するチラシに掲載し、加入者全世帯にお知らせしているが、広報やホームページにも掲載していること。

● 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 総合福祉センターの冷温水発生機の改修計画については、補正予算成立後速やかに入札に向けた準備を行い、平成二十八年二月中に入札、三月までに改修する予定であること。



総合福祉センター

● 障害者福祉費の増額理由については、障害者手帳所持者の増加

障害福祉サービスの制度の周知が進んでいること、企業等による障害者雇用、障害者自身の就労意識の高まり、障害者の高齢化に伴う障害の重度化などから、利用者数、利用量が増加していること。

● 今回の補正金額、三百八十万円は、加治中学校吹奏楽部の四十六人が札幌市で開催された大会に派遣されたことに係る中学校運営事業の各種大会生徒等派遣費補助金であること。

● 平成二十七年飯能市介護保険特別会計補正予算(第二号)

● 高齢者が円滑に在宅生活を営めるよう在宅医療と介護の連携を効果的に推進するため、多職種連携座談会補助金として、三十万円増額補正すること。

### 経済建設委員会

● 飯能市男女共同参画推進条例

● 審議会から条例の特徴についてもご意見をいただき、まず、前文を置き、その中で飯能らしさを出すこととし、家庭教育、学校教育、社会教育など、あらゆる場面の教育においてその役割が重要であることから、教育に携わる者を定義することとしたこと。

● 飯能市ムーミン基金条例

● 充当事業については、ソフト事業、ハード事業の枠に捉われず、メッセアの事業展開と合わせて決めていきたいこと。

● ふるさと納税の受け皿になる基金なので、ふるさと納税の制度が整ったら、しっかりとムーミン基金のPRを行ってほしいこと。



あけぼの子ども森公園

● 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 市民参加推進費の増額補正は、男女共同参画推進条例案の制定後、必要性や意義等を広く市民及び事業者等に周知するため、リーフレット等を作成する印刷製本費などであること。

● 農業生産振興事業の茶・地域特産物振興総合対策事業費補助金の増額補正について、今回の事業で整備する機械設備は、茶葉の収穫、刈込を行う摘採機で、事業主体は「つまい飯能茶をつくる会」となること。

# 平成27年12月定例会 議決結果

## ■賛否が分かれた議案等

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		栗原 義幸	中元 太	大津 力	野口 和彦	滝沢 修	山田 利子	新井 巧	金子 敏江	内田 健次	平沼 弘	(欠員)	加藤由貴夫	砂長 恒夫	鳥居 誠明	松橋 律子	加浦 弘貴	相田 博之	野田 直人	武藤 文夫	
80	行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
81	飯能市職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
85	飯能市立名栗幼稚園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願1	公契約条例検討委員会の設置を求める請願	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×		-	×	×	×	×	×	×	×	不採択

※加藤由貴夫議員は議長のため、採決には加わっていません。


## ■全会一致の議案等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	件名	議決結果
	第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会設置の件	設置
	第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会委員の選任	選任
82	飯能市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
83	飯能市ムーミン基金条例	原案可決
84	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
86	飯能市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
87	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
88	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
89	飯能市男女共同参画推進条例	原案可決
90	平成27年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
91	平成27年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
92	平成27年度飯能市下水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
93	平成27年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
94	平成27年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
95	平成27年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
96	平成27年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
97	平成27年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
98	平成27年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第1号）	原案可決
99	平成27年度飯能市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
100	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市高齢者福祉施設敬愛園）	原案可決
101	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市ふれあい農園施設）	原案可決
102	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市林業センター）	原案可決
103	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市さわらびの湯）	原案可決
104	市道路線の認定について（大字飯能地内）	原案可決
105	市道路線の認定について（大字岩沢地内）	原案可決
106	契約の締結について（飯能市阿須汚水中継ポンプ場建設工事）	原案可決
	閉会中の継続審査申出の件（第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会）	申出書のとおり
	議員派遣の件	派遣
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について（岡野 早苗）	異議はない
選挙3	埼玉県都市競艇組合議会議員選挙	選挙
議提8	地方大学の機能強化を求める意見書	原案可決
議提9	飯能市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

※議案第79号 第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)については、第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会による閉会中の継続審査となりました。





岡野 早苗氏

人事案件

人権擁護委員候補の推薦について

人権擁護委員岡野早苗氏が任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員意義はありませんでした。



# 市政に対する

## 一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、10人が質問にたちました。

### フィンランド共和国訪問について

野口 和彦

**問** 二〇一七年オープン予定のメツァアに関連してのフィンランド共和国訪問の成果について伺う。

**答** 飯能市は、フィンテックグローバル社との間で地方創生に関する基本協定を締結しており、交流人口増に向けた大きな柱であるメツァアを支援するとともに、本市を売り込む施策としても位置付けたムーミン基金を設置し、「ふるさと納税制度」と組み合わせることや、基金設置を行う

にあたって、ふるさと納税制度における返礼品として、オリジナルムーミングッズやフィンランドの品などを使用したい旨を説明し、前向きなよい回答を得ることができた。

また、絵柄の使用や現地企業との交流、訪問都市との交流など様々な意見交換ができ、人材交流をはじめとした今後の展開が期待できるものであったと感じている。ご期待ください。

ムーミンのテーマパークは本当にできるのか？  
情報公開はいつなのか？

梶田 博之

**問** メツァアの進捗は？

**答** 計画通り順調と聞いている。

**問** 発表後全く情報がないが、

**答** 情報が入り次第伝える。

**問** 既に半年経つが、いつまで二年後と言うつもりか。

**答** 二年後を信じて進みたい。

**問** フィンランド出張で何を得てきたのか。

**答** 基金、絵柄使用、あけぼの子どもの森公園にトーベ・ヤンソン名使用の件である。

**問** それぞれライセンス料は？

**答** これからの協議である。

**問** 契約ではないのか。

**答** 仲介人を通じて両者が同意しており、答礼で来ている。

**問** そもそも玉井社長は「これから飯能はムーミンのまちと堂々と言えるようになります」と言っていたのに、なぜ権利交渉を市がやらねばならないのか。

**答** テーマパークを建設する権利をフィンテックグローバル社が持つていて、ライセンスのことは整理する必要がある。

### フィンランド都市と姉妹都市を子どもは私たちの「宝」

中元 太

「ひきこもり」支援

**問** ◆メツァア関連の進捗について姉妹都市実現の可能性は、積極的に検討していく。

**答** DMOの設置進捗は、

**問** 非常に重要な役割を担うDMO。市観光協会等にも

**答** 導入に向けた検討をお願いした。飯能市地域創生プログラムにも挙げ、埼玉県の地方創生を牽引する可能性があると感じている。

**要望** 観光地域経済の見える化と観光経済へのインパクトの目標設定を要望した。

**問** いじめ・自殺防止の取組は、いじめゼロ会議・図書館に特別展示をしている。

**答** 待ちの態勢よりアウトリーチ(行政から手をのばす)施策を、小中教職員にゲートキーパ研修を要望した。

**要望** 待ちの態勢よりアウトリーチ(行政から手をのばす)施策を、小中教職員にゲートキーパ研修を要望した。

**問** ◆将来のために今から取り組むべき施策

**答** 就労世代への引きこもり社会復帰支援(コミットバンク)は、今後関係部署を交え研究する。

### 日本版CCRC構想について

成人用肺炎球菌ワクチン接種率向上を入間川河川敷の利活用について

栗原 義幸

**問** 日本版CCRCとは、国の掲げる新しい地方創生のあり方として首都圏の高齢者の地方移住を支援し、シニア世代が健康でアクティブな生活を送り、必要な医療や介護を受けられる「生涯活躍のまち」の構築を目指すものだが、見解を伺う。

**答** 国として更なる検討が行われる。動向を注視し研究したい。

**問** 高齢者の成人用肺炎球菌ワクチン未接種者の対応として、複数回通知を行う「コールリ

**答** コールの実施が必要ではないか。今後の接種率の向上については様々な方法を検討したい。

**問** 入間川河川敷で主に加治地区に該当する区間において、遊歩道の整備促進はできないか。

**答** 未整備の区間は地形上難所であるため、その予定はない。

**問** 岩沢運動公園付近河川敷のパークレット等の利用については、

**答** 地域の方のご協力をいただき、阿右橋西側に区域を設けている。

公共交通基本計画の目に見える具体化を  
買い物弱者に支援策を求める

新井 巧

**問** 飯能市地域公共交通基本計画が三年目に入る。目に見える成果が求められる。外出支援策は介護予防にも重要な柱。地域で議論する受け皿をどう作るか。住民の「足の確保」の情報交換のための地域懇談会などを実施してほしいが。

**答** 来年度、交通政策室を設置し、市民の足の確保等、交通に関する課題に対して、具体的な検討を進めていく。移動手段の検討について、研究・検討していく仕組みをつくりたい。

飯能ブランドの製菓・土産品の開発推進を  
出店希望者に向けたスピード感のある小口融資を  
オンラインサロンとDVVについて

松橋 律子

**問** 市内銘菓の老舗が集結して、銘菓を残しながらも、来飯者への土産品の対応をすべきでは。

**答** 商工会議所は、特産品認定事業に向け準備中。

**問** 出店のための小口融資などについてスピード感を持って行うべきでは。

**答** 事業の新たな展開には中小企業小口資金融資制度のご利用もある。

**問** 本市近年の児童虐待・DVの状況は。

**答** 児童虐待については、四類型があり、身体的虐待・性的虐待・心理的虐待・保護者の怠慢（ネグレクト）である。平成二十六年度は百六件で、五年間で二倍になった。対応は、フリーダイヤルによる児童虐待防止・相談ホットラインを開設し、専任の相談員を置いて、日常的に相談体制を強化している。

**問** 私達（公明党）は日本版ネウボラを推進してきたが。

**答** 興味深い取り組みで研究してきた。妊娠出産・子育てに至るまで支援に取り組んでいるように。



飯能住まい制度について  
各方面からの反応は  
諸課題に対する対策は

大津 力

**問** 「農」ある暮らしへのニーズ調査の内容は。

**答** 東京都墨田区、豊島区、横浜市中区で十月に行われたイベント会場においてアンケートを実施した。合計で四百七十三名の方から回答をいただき、そのうち二十代から四十代までの若者や子育て世代の方から二百五十二件の回答をいただいた。このうち、「飯能住まいをしたい」と回答された方が八十名、そのうち「今すぐ」と回答された方が八名いる。

**問** 地域の農業振興に活用できる補助金はないか。

**答** 国の補助事業である「農村集落活性化支援事業」というものがあり、検討を行なっている。補助事業はソフト事業であり、補助率は十分の十。飯能住まい制度がよりよい形で進められるよう、取り組んでいく。

建設業の担い手確保・育成と  
公契約条例制定に向け検討を

滝沢 修

**問** 建設業界は高齢化と若手入職者の減少により技能工不足が深刻化している。国交省も社会保険加入促進や設計労務単価の引上げを行ってきた。市内の建設業者の状況や実態は。

**答** 建設業を取巻く環境は依然として技能労働者不足が懸念され、厳しい状況と認識している。公共工事の品質低下を招かないように労務単価の見直しを行い、市内業者が施工可能な工事はできる限り市内業者優先で発注するよう入札

も実施している。

**問** 建設産業では重要課題とされる「担い手の確保・育成」が求められるため、国交省も法改正を行った。地方自治体では公契約条例制定の動きもある。制定に向けて研究・検討は。

**答** 市において条例化する考えはないが、条例を制定する自治体があるのも事実だ。研究していくことも必要と考えている。他の自治体も注視しながら進めていきたい。



## 子ども・子育て支援新制度の下で 保育料が上がらないように

山田 利子

**問** 飯能市は、女性と子どもにやさしい街をめざして、子どもの医療費を中学校卒業まで無料化、インフルエンザ予防接種の無料化、コウノトリ事業など、若い子育て世帯に喜ばれている。さらなる子育て支援、少子化対策として「子ども・子育て支援新制度」の下でも保育料が上がらないよう、また、新規入園児・入所児についても在園児同様の保育料にすることについては。

**答** 今まで、廃止された年少扶

養除のみなし適用をしてきたが、四月からの新制度では原則みなし適用しないこととした。在園児については、平成二十六年度の保育料階層より上げない経過措置を行い卒園までの負担軽減をしている。新規入所児童については、新しい保育料基準額のもとに算定している。

**要文** 同程度の所得でも保育料に差をつけることはいかがなものか。新規入所児についても負担軽減になるよう検討してほしい。

## 飯能の水の価値をどう捉えているか？

金子 敏江

**問** 昨年九月、文化新聞に脇岡氏（元大学教授）が飯能市の水道水の水質を分析し、水質に差異があると発表した。県水六五%の水道水は、飯能の小岩井浄水場、さいたま市大久保浄水場（県水）の三地点での比較で、あくまで水質基準値内であるが、総トリハロメタンの数値が一番高いことが分かった。飯能市は大久保浄水場から最も遠方に位置し、水道管の総延長は三十八kmにも及ぶ。長い距離を攪拌されて運

ばれるために有機物と塩素が反応し生成する。来年度から十年間の水道ビジョンに本郷浄水場を休止して県水に置き換えることを明記した。とても認められないものではないが、水質に明確な差異があるのだから県水の水質を良くしてほしいが。

**答** 市としても新聞に掲載されたことから県に相談している。夏場の検査回数を増やしたり活性炭処理したり。高度浄水処理についての要望は県にあげておく。

## 飯能市の先進事例を 視察に來られました

飯能市では、エコトリズム、ロケーションサービスなど数々の特色ある事業に、また、市議会では、タブレット端末導入（ペーパーレス会議など）、議会改革に取り組んでいます。

○他市区町村議会議員の行政視察の受け入れ状況  
（平成二十八年 月五日現在）

- 北海道室蘭市議会（議会運営委員会）・十名（十月六日）
- 議会運営におけるICT化の取り組み
- 大阪府河内長野市議会（議会運営委員会）・十名（十月十四日）
- 議会改革について
- 愛知県阿久比町議会（総務建設委員会）・六名（十月十五日）
- タブレット端末の導入
- 愛知県碧南市議会（議会運営委員会）・九名（十月十八日）
- 議会運営について
- 佐賀県武雄市議会（議会改革特別委員会）・六名（十月二十日）
- タブレット端末の導入
- 市議会（災害対策支援本部設置要領の策定）
- 埼玉県川越市議会（自由民主党川越市議団）・七名（十月二十二日）
- 魅力あるまちづくりとリーダーシップ
- 愛知県豊明市議会（総務委員会）・九名（十月二十六日）
- シティアプローチ事業
- 長野県山ノ内町議会（総務産業常任委員会）・八名（十月二十八日）
- タブレット端末の活用
- 長野県茅野市議会（全議員）・二十名（十月二十九日）
- タブレット端末の活用
- 滋賀県近江八幡市議会（議会運営委員会）・十三名（十一月五日）
- タブレット端末の導入
- 議会ICT化の取組
- 埼玉県さいたま市議会（日本共産党会派）・五名（十一月六日）
- 議会のICT化について
- 千葉県佐倉市議会（議会運営委員会）・十二名（十一月六日）
- 議会におけるタブレット端末の導入
- 滋賀県彦根市議会（議会運営委員会）・八名（十一月十三日）
- 議会のICT化について
- 神奈川県厚木市議会（議員クラブ）・二十九名（十一月十六日）
- タブレット端末の導入
- 富山県小矢部市議会（人口対策等特別委員会）・九名（十一月十八日）
- シティアプローチ事業
- 埼玉県熊谷市議会（公明党会派）・一名（十一月十九日）
- さくら猫無料不妊手術事業
- 新潟県妙高市議会（議会運営委員会）・十名（十一月二十五日）
- タブレット端末の導入
- 北海道石狩市議会（自由民主クラブ）・九名（十二月十四日）
- 議会のICT化について
- 議会改革について

## 議員研修会を 開催しました

平成二十七年十二月十六日に飯能市立図書館副館長の大橋はるか氏を講師に招き、「ムーミンとそのふるさとフィンランド」をテーマに、研修会を開催しました。

今後の動向に備え、「ムーミンとそのふるさとフィンランド」のことをより知ることができた大変充実した研修となりました。



## 市民から市議会へ提出

### 請願

○の中の数字は請願番号

①公契約条例検討委員会の設置を求める請願  
不採択(多数)

提出者

埼玉土建一般労働組合飯能日高支部  
支部長 飛山 謹作  
外二百六十七名

### 陳情

○の中の数字は陳情番号

⑦宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書

提出者

荒木 實

⑧陳情書(市町村公的審議会等委員への公益社団法人埼玉県地建物取引業協会会員の登用に関する件等)

提出者

埼玉県不動産産政治連盟彩西地区  
地区長 室岡 和俊

⑨陳情書(公立図書館における青少年の健全たる育成等を阻害する図書排除を求め陳情)

提出者

小畑 孝平

⑩陳情書(飯能市議会における陳情の取扱いの改正を求める陳情)

提出者

小畑 孝平

⑪沖繩の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

提出者

名護市議会議員 宮城 安秀  
外十名

⑫消費税引き上げ中止の意見書提出を求める陳情書

提出者

消費税の廃止を求める埼玉連絡会  
陳情者代表 岩瀬 晃司  
外一名

### 要望

要望書(西川材を利用した、木製サッシ・木製建具・天然木不燃シート(ウッドピール)を『ムーミンのテーマパーク』の西川材パビリオンで是非とも採用をして頂きたい。)

提出者

埼玉県建具組合連合会  
会長 坂本 勉

## 市議会から国等へ提出

### 意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

## 地方大学の機能強化を求める意見書

地方創生に向けた政府の総合戦略において、地方大学の果たす役割は重視されており、特に、「地域ニーズに対応した人材育成」や「地方課題の解決への貢献」、「地元企業への就職率の向上・地元への若者の定着」など、これまで以上の取り組みが期待されている。しかし、国立大学の運営費補助金は年々削減され、教育の質の低下や将来的な学生定員数の削減につながりかねない状況にあり、私立大学においても少子化の進行による定員充足率の低下や私学助成の減額によって、大学経営そのものに大きな影響を与えている。よって、国におかれては、地方創生に向け、地域と大学がこれまで以上に積極的に取り組もうとする中、若者の地元定着や、地域のニーズに対応した人材育成などに大きな影響が出てくることを懸念されることから、以下の項目について強く推進するよう求めるものである。

記

一 知の拠点である地方大学を「地方創生の拠点」として位置付け、地域の産業振興・雇用創出に資する研究開発、若者の地元定着や地域人材の育成につながる教育など、地方創生に貢献

する取り組みに対して支援を図ること。

二 地域ニーズに即した人材育成や技術開発をはじめ、地域課題の解決に向けた地元自治体や産業界等と連携した取り組みに対し支援の充実を図ること。

三 地方で若者が一定水準の専門知識を習得できるように教育の質の確保を図るとともに大学で学ぶ学生定員確保のため、その基盤となる国立大学法人運営費交付金の充実、私立大学に対する私学助成の拡充を図ること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、地方創生担当大臣あて

## 他市の先進事例を調査視察に行きました。

### 総務委員会

石川県金沢市(十月二十二日)  
「金沢市の歴史遺産を生かしたまちづくり」について

かつて城下町として栄えた金沢市には、歴史文化遺産群が多く存在し、その古き良き伝統と文化を守ることに注視し、市民意識も歴史文化を守る意識がとて高く、観光地としてのあり方の議論が現在でも絶えない。

## 石川県七尾市(十月二十二日)

### ①「七尾市の人口減少対策」について

### ②「七尾市の移住定住促進策」について

人口減少対策の人を呼び込む施策では、スポーツ施設の整備により合宿などの需要に対応しており、誘客や移住定住の促進にも工夫を凝らして取り組んでいる。特に空き家バンク制度は、集約した情報をもとに、都心での生活者向けのイベントを積極的に行っており、ポータルサイトの開設や移住体験ツアー、移住相談セミナーの都心での開催など、積極的な取り組みをしている。





●厚生文教委員会

岐阜県岐阜市(十月二十九日)  
「岐阜市のデータヘルス計画」について

岐阜市国保に加入されている被保険者の健康度を高め、健康診断の受診率を高め、働き盛りの早死予防や高齢期の認知症予防、介護予防等、健康寿命の延伸・医療費の抑制を目的としている。

大阪府大阪市(十月三十日)  
「大阪市の認知症初期集中支援チーム」について

本事業は、オレンジプランの柱の一つとして、これまで早期対応の遅れから認知症の症状が悪化し、行動・心理症状とが生じてから医療機関を受診する例や、継続的なアセスメントが不十分であり適切な認知症のケアができていない例などがあつたことから、今後目指すべきケアは「早期支援機能」と「危機回避支援機能」を整備し、危機の発生を防ぎ「早期・事前的な対応」に基本を置くことが求められている。そのことを重点に置き対応すべき形としての事業が認知症初期集中支援チームである。

●経済建設委員会

群馬県太田市(十月二十二日)  
「太田市の水道事業包括業務委託」について



太田市は抱えていた水道事業における課題を解決するために、①常にコスト意識を持って仕事に取り組み②極力外部に業務委託をすることの二点を打ち出した。職員数を五十二名から十八名まで削減したこと、五年間で約七億円の経費を削減したこと、組織の係体制は今まで通りとし、水道局と受託者のノウハウを有機的に結び付けたこと、業務移行のリレーゾーンとして、水道局職員もお客様に不便をかけるないように在籍することが主な成果として挙げられる。

福島県会津若松市(十月二十二日)  
「会津若松市の水道事業包括業務委託」について

会津若松市は抱えていた課題を解決するために、委託方法を効率的な業務運営が図られることから、取水や浄水場運転管理、送・配水施設の維持管理を特別目的会社に第三者委託するものと、料金徴収業務を別の事業者にて委託するという、業務を分けてそれぞれに委託する方式とした。

この成果としては、職員数が六十八名から四十二名に削減されたこと、取水から料金徴収までの費用が一億三千七百万円削減されたことが挙げられる。



◆「私たちの一票がまちを変える」事業が開催されました◆



グループディスカッション(聖望学園中学校)



発表(聖望学園中学校)

「18歳選挙権」を目前に控え、政治に直接関われる機会をつくり、関心を高めてもらうことを目的として、平成27年10月20日(火)に聖望学園中学校、10月27日(火)に大川学園高等学校において、飯能商工会議所青年部地域振興委員会主催の「私たちの一票がまちを変える」事業が開催されました。

2日間で延べ約230名の生徒たちが、このまちの将来をテーマに市議会議員らと交えてグループディスカッションを行い、その結果を発表しました。



グループディスカッション(大川学園高等学校)



発表(大川学園高等学校)

# 市議会案内板

## HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>

### ◆第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置◆

議案第79号「第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)」については、慎重審査のため閉会中の継続審査となり、「第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会」が設置されました。

#### 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会

(7名、◎委員長 ○副委員長)

◎野田直人 ○中元 太 大津 力 野口和彦  
金子敏江 平沼 弘 鳥居誠明

## 審議の日程

### 12月定例会

- 11月27日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明  
第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会の設置
- 12月 1日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託  
2日 一般質問  
3日 一般質問  
7日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)  
11日 委員長報告・質疑・討論・採決  
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決  
埼玉県都市競艇組合議会議員選挙  
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決  
閉会

## 議会日誌

### 10月

- 1日 飯能市議会広報委員会  
20日 私たちの一票がまちを変える(聖望学園中学校)  
27日 私たちの一票がまちを変える(大川学園高等学校)

### 11月

- 6日 飯能市議会IT会議  
9日 議会改革特別委員会  
10日 代表者会議  
16日 埼玉県都市競艇組合議会定例会  
17日 全員協議会  
24日 議会運営委員会  
27日 第4回定例会(12月11日まで)  
飯能市議会広報委員会

### 12月

- 11日 議会改革特別委員会  
15日 飯能市水道ビジョン(経営戦略プラン)及び飯能市水道事業中期経営計画(前期)策定協議会  
飯能市教育振興基本計画策定協議会  
16日 議員研修会  
17日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会  
18日 第6次飯能市行政改革大綱策定協議会

### 1月

- 5日 飯能市議会広報委員会

## 議会を傍聴しませんか

12月定例会では延べ93名の方が傍聴されました。

### 次回の3月定例会は 2月26日開会予定です。

会期日程等は2月23日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます  
市役所内：議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

### 戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

1/30～2/3、2/10～2/15、2/25～2/29

3/12～3/15、3/22～3/27

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)

### \* 編集を終えて \*

申年を迎えて思い浮かべるのが、日光東照宮にある「見ざる言わざる聞かざる」の三猿です。論語にも「非礼勿視、非礼勿聴、非礼勿言、非礼勿動」という一節があります。これらは、人を傷つけたりしない、謙虚であれとも言われています。これに反し、秩父神社には「よく見よく聞いてよく話そう」という現代の情報社会のスピード感に対する“お元気三猿”が親しまれて存在しています。

私たち広報委員会にも「改革八猿」がいます。市民の皆様とにかく「議会だより」を手にとっていただけるか、いかに親しんでいただけるか、新たなセンス・感覚を生かしながら、エン(猿)ジンプルパワーで元気に活動中です。ご期待ください。

(砂長)



### 広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎中元 太 ○滝沢 修 栗原 義幸 大津 力  
野口 和彦 新井 巧 平沼 弘 砂長 恒夫